

パシフィックシステム株式会社  
2017年3月期  
決算説明会

2017年6月23日

代表取締役社長 久保 永史

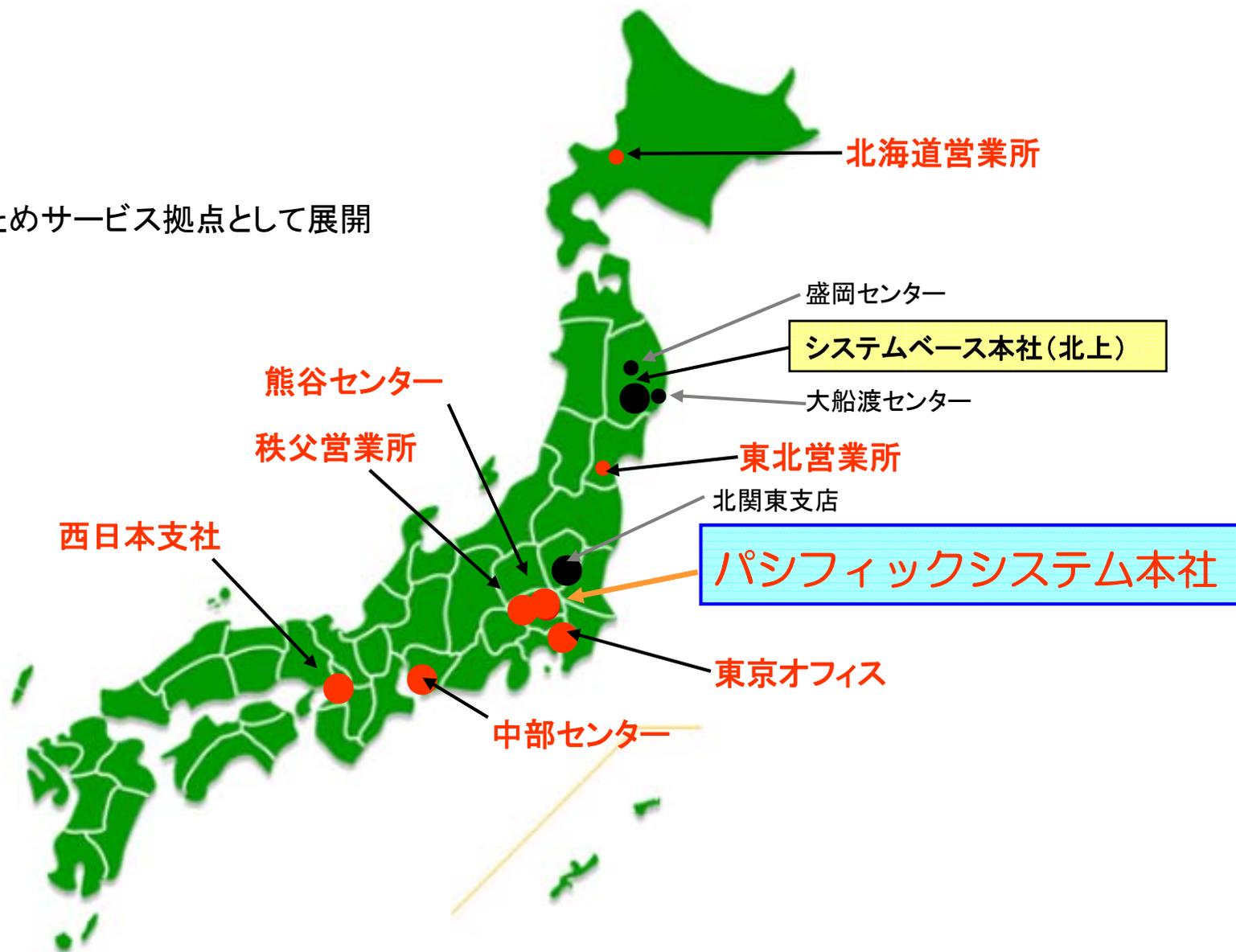
- 企業概要
- 2017年3月期 決算概況
- 2017年度業績予想
- 17中期経営計画の進捗状況

# 企業概要

- 社名 : パシフィックシステム株式会社  
本社 : 埼玉県さいたま市桜区田島8-4-19
- 設立 : 昭和55年8月  
資本金 : 7億77百万円  
従業員 : 603名(連結:平成29年3月現在)
- 上場先 : 東証(JASDAQスタンダード)  
事業内容 : 製造業、流通業、金融業等向けの情報サービス事業
- 連結子会社 : 株式会社システムベース  
岩手県内の企業及び自治体向けを中心に当社と連携した情報サービス事業を行う

# 事業所展開

※主要顧客対応のためサービス拠点として展開



# 当社の事業区分（セグメント）

## システム運用・管理等

- ・ ユーザシステムの運用・管理サービス、データセンタ、パソコン教育、保守サービス等

## システム販売

- ・ 画像処理システムや生コンクリート業界向けシステム、医療システム等のシステム商品の販売 及び ネットワーク構築等のインフラサービス

## ソフトウェア開発

- ・ 製造業・流通業・金融業等幅広くアプリケーションシステムの受託開発業務を行う。また、主に製造業向けにERP事業のコンサルとシステム開発を行う。

## 機器等販売

- ・ パソコン、サーバー及び周辺機器とパッケージソフトウェア等の仕入・販売

# 2017年3月期決算概況

# 2017年3月期 連結決算概況

決算年度 (単位:百万円)	2015年度 (2016年3月期) (A)	2016年度 (2017年3月期) (B)	前期比 (B-A)	増減率
売上高	8,312	8,877	565	6.8%
売上総利益 (利益率)	1,975 (23.8%)	2,176 (24.5%)	201	10.2%
販売管理費	1,428	1,554	125	8.8%
営業利益	547	622	75	13.7%
経常利益	574	621	46	8.1%
当期純利益	364	408	43	11.9%

当期連結決算は、「増収」「増益」となりました

- 売上高は、すべてのセグメントで増加し増収
- 利益は、売上高増加及び原価低減により増益

# 2017年3月期 事業区分別の売上高

事業4区分売上高の前期比



**システム運用・管理等**

システム運用支援は減収だが、データセンタ業務及び保守関連事業等の増収により増収

**システム販売**

生コン協組向けシステム及び医療関係は減収だが、画像処理システム及びインフラサービス等の増加により全体では増収

**ソフトウェア開発**

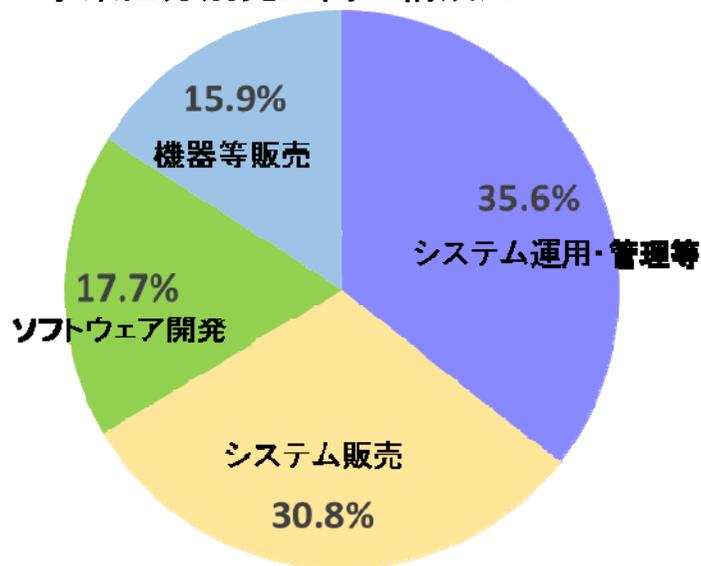
前期からのずれ込みがあったこと及び東北地区の受注停滞状況が改善したことにより増収

**機器等販売**

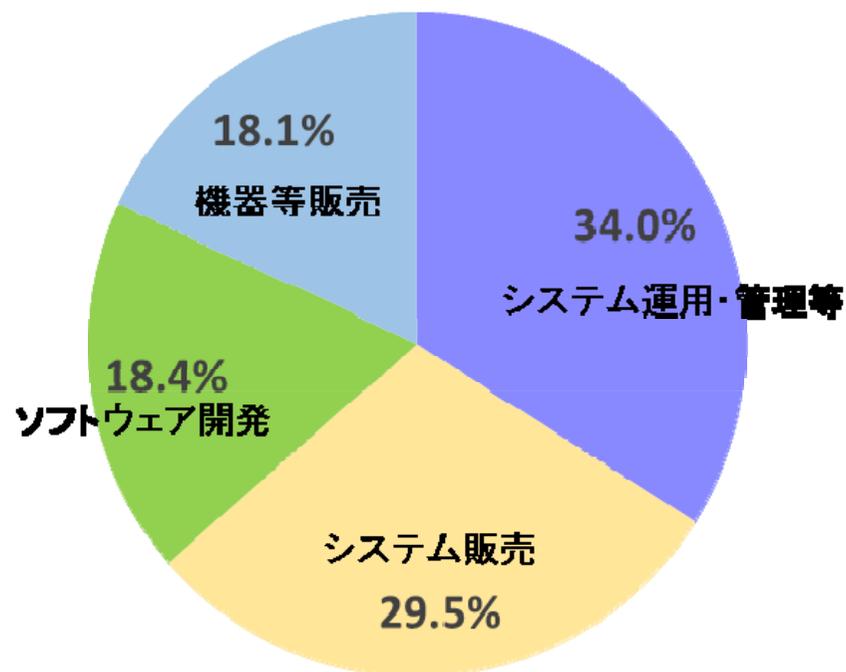
機器販売及びメーカー保守の増加により増収

# 2017年3月期 当社の事業区分構成比

事業区分別売上高の構成比



2015年度



2016年度

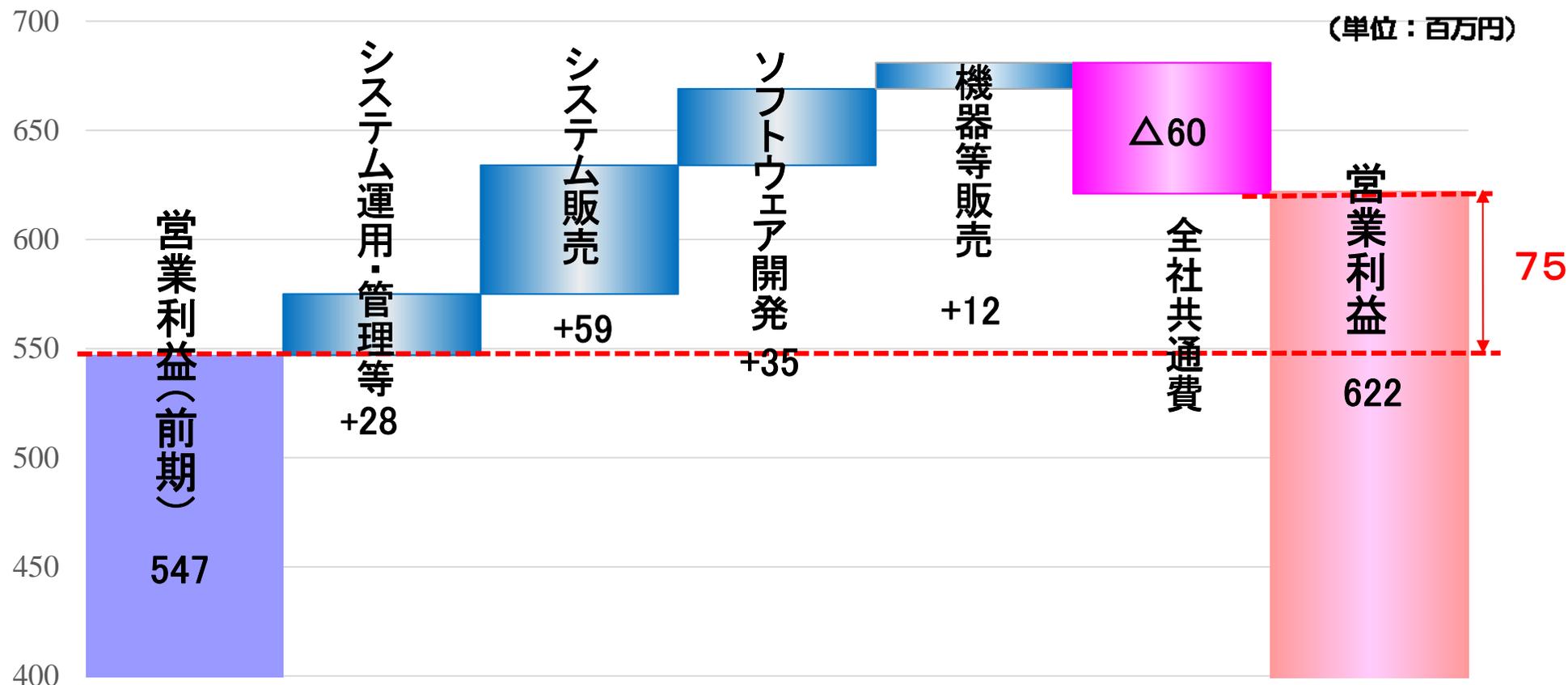
2016年度はシステム運用・管理等及びシステム販売の構成比率は減少しました。

# 2017年3月期 事業区分別のセグメント利益

区分 (単位：百万円)	2016年3月期 セグメント利益 (A)	2017年3月期 セグメント利益 (B)	前期比 (B-A)	増減率
システム運用・管理等	845	873	28	3.3%
システム販売	271	331	59	21.9%
ソフトウェア開発	296	331	35	12.0%
機器等販売	21	33	12	61.4%
全社共通費 (販売費・一般管理費)	△887	△948	△60	6.8%
<b>合 計</b>	<b>547</b>	<b>622</b>	<b>75</b>	<b>13.7%</b>

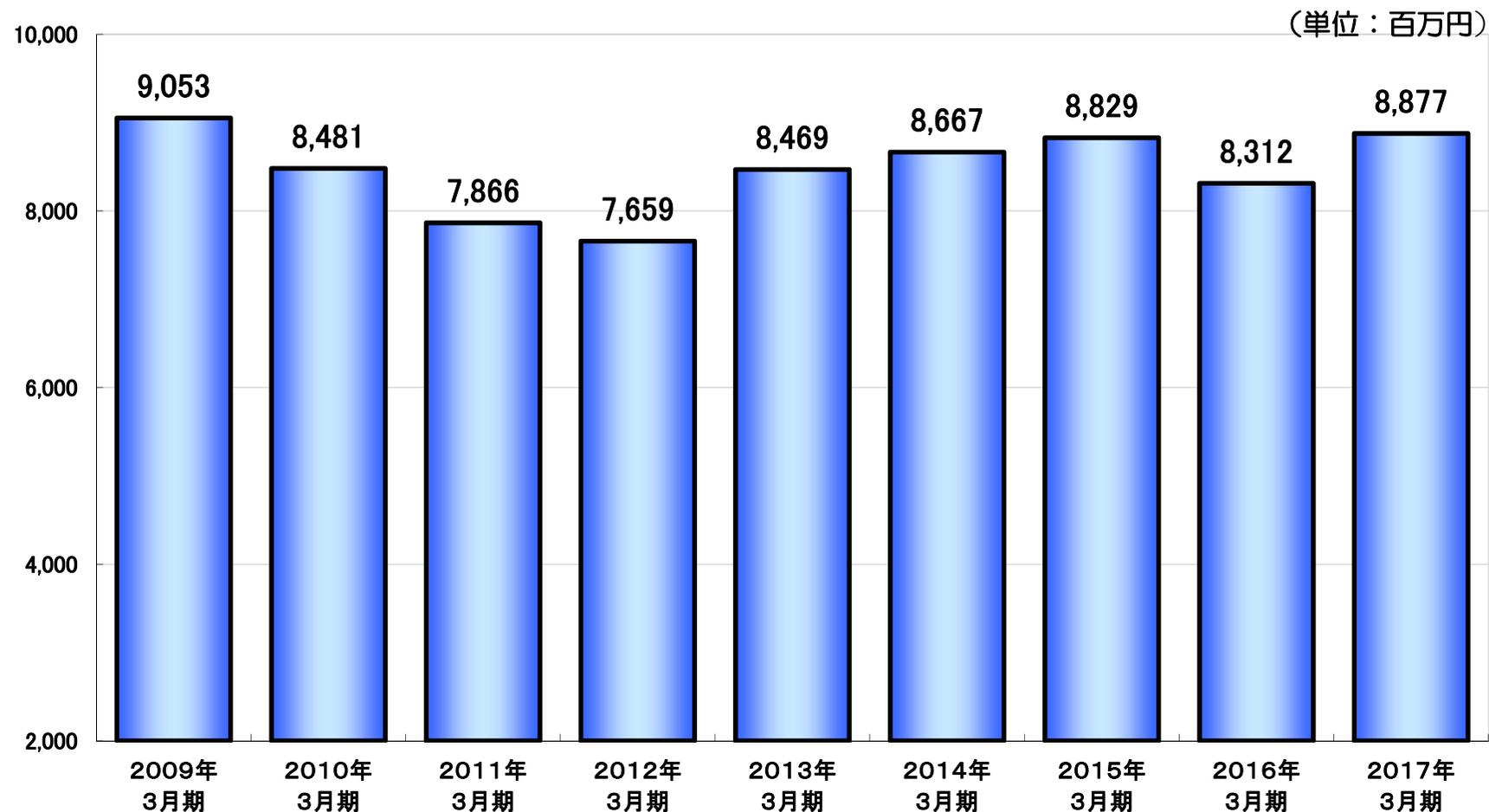
- システム運用・管理等は、売上高増加に伴い増益
- システム販売は、売上高増加及び販売費減少に伴い増益
- ソフトウェア開発は、売上高増加に伴い増益
- 機器等販売は、売上高増加に伴い増益

# 2017年3月期 営業利益分析



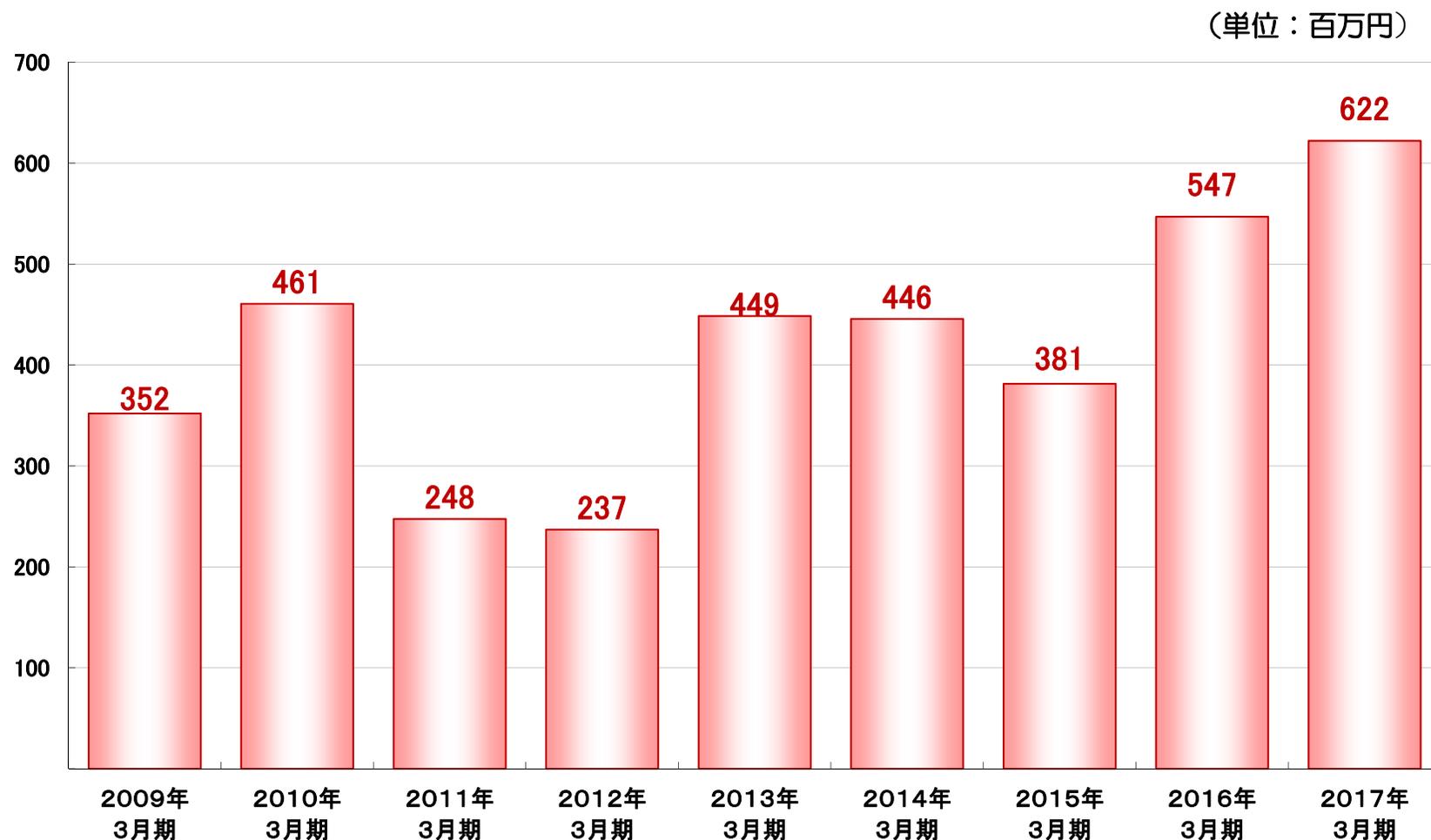
- システム運用・管理等、システム販売、ソフトウェア開発及び機器等販売のすべてセグメントで増益
- 要員を増員し営業を強化したため販売費が増加
- 管理機能を強化したため、一般販売費も増加

# 売上高の推移



- 売上高は2015年3月期まで増収基調が続いていました。前期は減収に転じましたが、当期は再び増収となりました。

# 営業利益の推移



●売上高の増収基調に対し営業利益は2014年3月期以降低迷しましたが、前期に引き続き当期も増益となりました。

# 2017年3月期 連結財務諸表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	3,872	流動負債	1,951
		固定負債	415
		負債合計	2,366
固定資産	2,553	純資産の部	
		純資産合計	4,058
資産合計	6,425	負債・純資産合計	6,425

# 2017年度業績予想

## 2017年度業績予想 — 当期実績との対比 —

(単位：百万円)

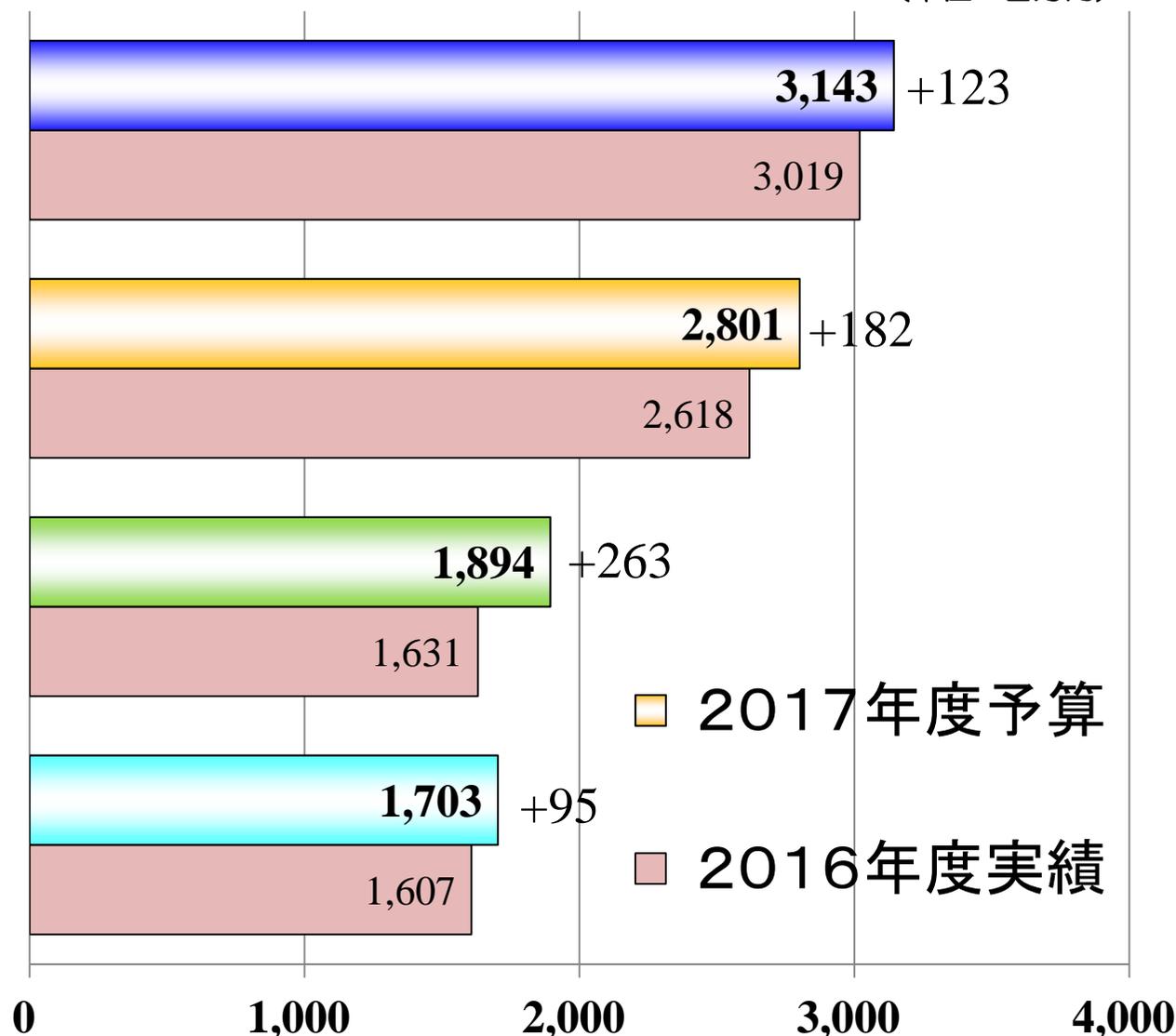
決算年度 【連結】	2016年度 実績(A)	2017年度 予算(B)	前期比 (B-A)	増減率
売上高	8,877	9,543	665	7.5%
売上総利益 (利益率)	2,176 (24.5%)	2,200 (23.1%)	24	1.1%
販売管理費	1,554	1,650	96	6.2%
営業利益	622	550	▲72	▲11.6%
経常利益	621	556	▲65	▲10.5%
当期純利益	408	373	▲34	▲8.6%

## 2017年度予算は、16年度実績に対し「増収、減益」の見通し

- 売上高は、既存商品の拡販及び新規案件の獲得により増収
- 利益は、環境整備等による費用増加により減益の見通し

# 2017年度業績予想 — 事業区分別の当期実績比 —

(単位：百万円)



**システム運用・管理等**

データセンタ事業の拡販及び新規サービスの展開により増収

**システム販売**

大型生コン協組システムの獲得、インフラ整備及び医療システムの大型商談により増収

**ソフトウェア開発**

太平洋セメントグループ向けシステム再構築、ERP事業の拡販及び新規案件の獲得により増収

**機器等販売**

太平洋セメントグループ向け及び地元企業・自治体への営業強化及び拡販により増収

# 17中計進捗状況

## 17中期経営計画達成に向けて

# 17中計数値目標

## 2017年度 損益目標

売上高

102億円

営業利益

6.2億円

## 【17中計 基本方針】

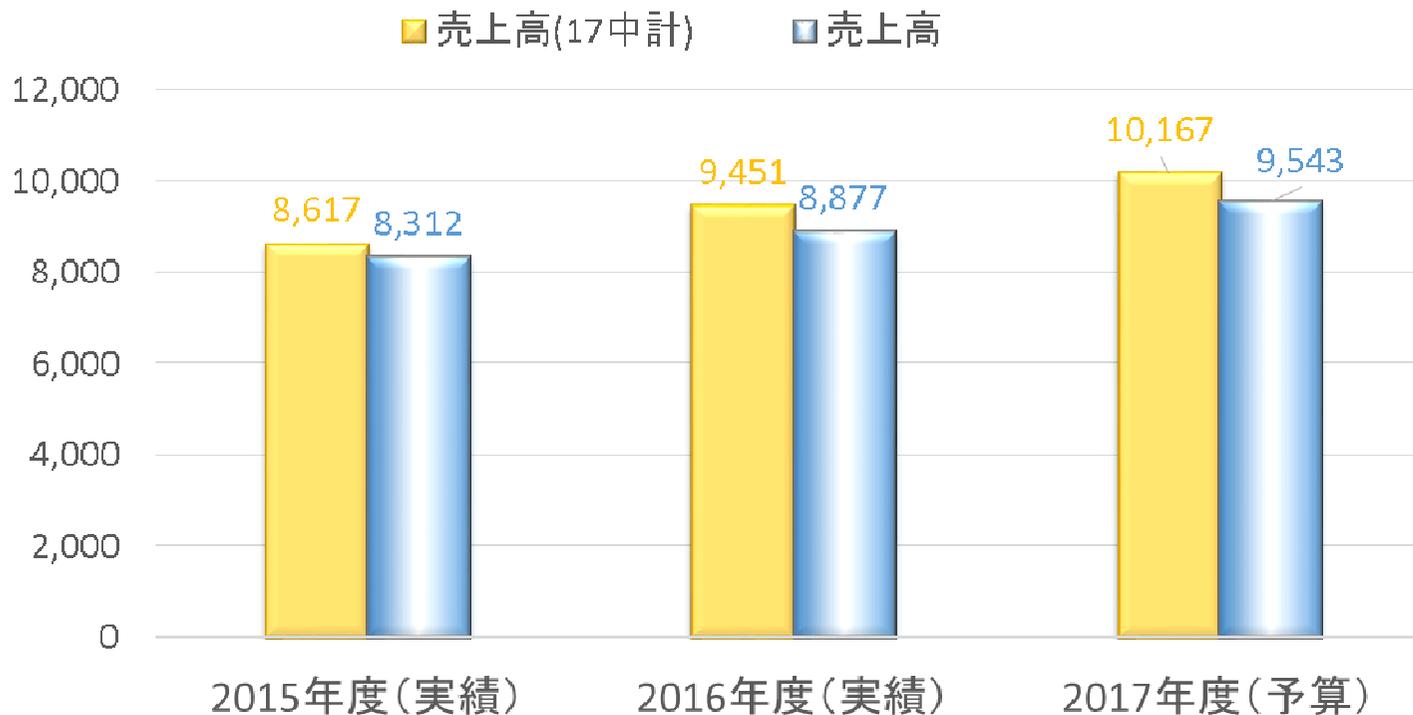
- ①技術を追求する。
- ②技術を基に信頼される商品・サービスを提供し、  
事業を拡大して、成長する。
- ③経営基盤を強化する。
- ④環境経営を推進する。

## 【17中計 重点施策】

- ①資源の集中と、要員及び資源の配分見直し
- ②ビジネスモデルの転換
- ③赤字の解消
- ④新規技術及び新商品の企画・開発
- ⑤営業の強化
- ⑥顧客満足度の向上
- ⑦意識改革
- ⑧社内活性化
- ⑨社員育成
- ⑩組織力・マネジメント力の強化

# 17中計進捗状況（売上高）

連結



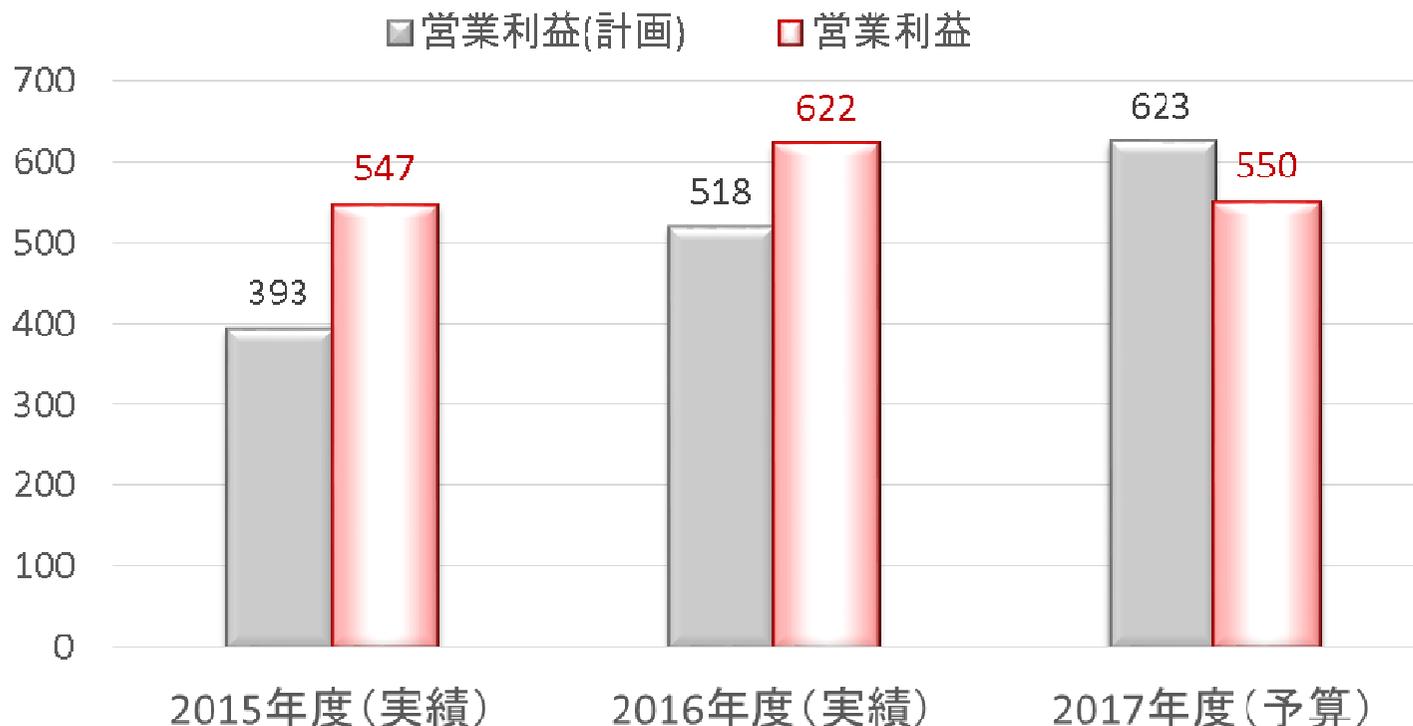
## 17中計との差異 (百万円)

2015年度 実績	△305
2016年度 実績	△574
2017年度 予算	△624

- 売上高は2015年度・2016年度共に計画を下回った
- 2017年度予算についても同様

# 17中計進捗状況（営業利益）

連結



## 17中計との差異 (百万円)

2015年度 実績	+154
2016年度 実績	+104
2017年度 予算	△73

- 営業利益は2015年度・2016年度は計画を大幅に上回った
- 2017年度予算では下回る見込み

# 17 中計進捗状況（事業区分別）

連結

## 事業区分別売上高

（単位：百万円）

	2016年度			2017年度		
	計画	実績	差異	計画	予算	差異
システム運用・管理等	2,934	3,019	85	3,023	3,143	120
システム販売	3,041	2,618	△ 422	3,382	2,801	△ 581
ソフトウェア開発	1,916	1,631	△ 284	2,167	1,894	△ 273
機器等販売	1,561	1,607	46	1,595	1,703	108
売上高合計	9,451	8,877	△ 574	10,167	9,543	△ 624

- 2016年度実績はシステム販売及びソフトウェア開発が計画を大きく下回った。
- 特にシステム販売では、生コン協組システム及び医療システムで受注案件減少や売上の期ズレが発生した。

# 17中計進捗状況（事業区分別）

連結

## 事業区分別売上高

（単位：百万円）

	2016年度			2017年度		
	計画	実績	差異	計画	予算	差異
システム運用・管理等	2,934	3,019	85	3,023	3,143	120
システム販売	3,041	2,618	△ 422	3,382	2,801	△ 581
ソフトウェア開発	1,916	1,631	△ 284	2,167	1,894	△ 273
機器等販売	1,561	1,607	46	1,595	1,703	108
売上高合計	9,451	8,877	△ 574	10,167	9,543	△ 624

- 2017年度予想では、見込んでいた大型インフラ案件が延期となったため、システム販売が計画を大きく下回る。

# 17中計進捗状況（損益）

## 連結

（単位：百万円）

	2016年度			2017年度		
	計画	実績	差異	計画	予算	差異
売上高	9,451	8,877	△ 573	10,166	9,543	△ 623
売上原価	7,395	6,701	△ 694	7,978	7,342	△ 636
売上総利益	2,055	2,176	121	2,188	2,200	12
販売・管理費	1,537	1,554	16	1,565	1,650	85
営業利益	517	622	104	622	550	△ 72

- 2017年度予算は17中計に対して「減益」を見込んでいる。

# 17中計進捗状況

売上高が伸びず厳しい状況が予想されるが、計画している強化策を確実に実行し、17中計の営業利益達成実現に努めてまいります。

# パシフィックシステム株式会社 2017年3月期 決算説明会

本日はご多用中のところご出席いただきありがとうございました。今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。